

朝日寺だより

英会 隆代 松代 若松 隆英
発行 者 若松 隆英
印刷 者 奥山 印



新年を迎えて

住職 若松 隆英



います。誠に有難うございました。五月十五日には完成記念の行事を行いますので、皆様のご参加をお願いいたします。又、続いて本堂等の修復で無理を申さねばなりません。が、よろしくお願ひ申し上げます。

新年明けましてお目出とうございます。昨年明けてからお目出とうございます。昨年明けてからお目出とうございます。昨年明けてからお目出とうございます。

昨年を振り返りますと、奥尻島の地震・鹿兒島の水害・冷夏・長雨等々良くない事が続きました。景気もバブル崩壊の影響が及び低迷しています。こういふ世相は人々の心を暗くし、こんな中から凶悪事件も起りかねない気がいたします。が、こんな時世こそ自分を静かに見つめ、自らの信念、目標を持った地道な地に足のついた活動が認められる好期でもございます。

年頭に あたつて

総代長 島岡 篤

明けましてお目出とうございます。謹んで新年のご挨拶申し上げます。平素はお寺の事につきましては何かと御協力をいただきましてありがとうございます。

厚くお礼申し上げます。一昨年九月から着工致しております客殿の修復工事が四月三十日完成致しました。もう皆さんもご承知の方が多いと思いますが、立派になりました。ご同慶のいたりでございます。ありがとうございます。

花まつり

密教婦人会副会長 小野田 政子

四季の移りも変わりも、歳を重ねる度に早くおとづれてきます。密教婦人会としてたいしたお手伝いも出来ないままに、二年目を迎える事になりました。ふり返りまして、毎年の行事となつております。花まつりの思い出をのべさせて戴きます。花まつりは、お釈迦さまの誕生祝ですが、朝日寺では、五月八日に行つています。役員の皆様方には、早朝より手作りの花を澤山持ち寄つて下さつて、お寺の縁は、あつというまに、お花屋さんの雰囲気になりました。どんなお花が、そして如何程集まるかしら・・・と想像しておりました所、お花を愛好するお方が増え、とても数えきれない種類の花園を訪れたようでした。立派に咲いた花を短く切るのが、可愛そうな気持ちもしましたが、色とりどりの花を配色よく葺いていきました。誕生仏を安置し、その上に花の屋根を飾つた時の喜びは感無量でございました。皆様方の御協力のお蔭と思つてました。

手作りの 生花もて葺く 花御堂 保育園児のお参りもあるので、手作りのチュウリップの袋を作り接待菓子

を入れて用意しておきました。お参りした園児たちは一人づつお花と甘茶をそそいで嬉しそうに袋をさげて、帰つて行きました。

子供達の頭の中にも、美しい花の仏生会の思い出が、きつと残っている事と思つています。

菓子袋 貫ひ園児ら 花まつり 人の心に豊かさ、和やかさを興えてくれる花を道づれに、そして婦人部の皆様の友情を大切に、余生を歩みたいと思つています。

最後になりましたが、婦人部の方々もとり寺総代の方々には常に一方ならぬお世話を戴き、誠に有難うございました。厚く御礼申し上げます。 合掌

ご詠歌しましろう

中東 小川 良子

平成六年の新春 明けましてお目出度うございます。皆様にはお気持も新しくお正月を迎えになったこと存じます。私も大正、昭和、平成と三代のみ世をたどり数えて、七十六才の春を迎へ、「生かされある」よろこびをありがたく感謝してまいります。

思いおこして十四年前朝日寺お本尊のお開帳と土砂加持法会の行列に加えていただく為にお詠歌を始めました。以来たどたどしい歩みではございますが煩惱を忘れ大きな声で一心にお唱えております時の心のやすらぎ安心は何とも法悦の一瞬でございます。 来る五月には七年ぶりに廻つてくる土砂加持法会とお花祭りが合せて行なわれ可愛いお稚児さんも出ると思つてます。修復なつた境内で澤山の方のお参りで行列を盛大にもり上げて頂きたいとご詠歌の勉強会を始めました。お同行の水野、藤岡さん達の奔走で尻海コミニティをかりまして、第一第三水曜

日による七時～九時までお稽古をします。老若男女どなたでもお参加下さい。お待ちしております。不況と不安で腹の立つ事の多い世相ですが怒ることは健康によくございませぬ。立腹の虫が頭を起しかけたら左の真言を三回唱えてみて下さい。怒虫が横に寝ると思ひます。 おんころく、腹立てまいぞえそわか 尚、お寺でも第二・第四の金曜日に 行なつていきます。 合掌

おすなふみ並びに 大護摩供養

一月十五日(成人の日)
午前十時より

護摩木に新年の願いを!! 福引、お接待あり 古いお札等お持ち寄り下さい。

五月十五日

客殿修復記念 土砂加持法会

邑久郡結衆寺院恒例の土砂加持法会が今年朝日寺の当番で五月十五日午前十時より行なわれます。七年に一度の檀家の総先祖供養とも言える行事です。朝日寺では修復された客殿の落慶を兼ねて、稚児行列・うじんのお接待・もち投げ等にぎやかに行事を行ないます。檀家の皆様方のご参加をお願いいたします。詳しくは後程ご案内の書き物を配らせていただきますのでそれをご覧下さい。



修復なつた客殿

お大師さまの書かれたものの中に「自ら内にかえりみることに出来る人と、いたずらに他をにくむ人と、そこに人の高き低きが現われる」という意味のことばがあります。すべて自分の一歩から始まります。新しい時代を切開くべく頑張りましょう。